

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①

中川 徹

7月20日（土）、前日からの雨は夜中まで断続的に降っていました。それでも、19時での降水確率は30%でした。子供28名、保護者30名、スタッフは当日参加3名を含めて33名、合計91名のイベントでした。



スタッフは7時半の集合でテント設営等の準備に取りかかり、9時からの開始時間に間に合わせました。会長挨拶、諸注意の後、図録を利用して自然観察です。グループを2つに分けて昆虫観察と植物観察です。雨の影響で足場が悪く観察条件はあまりよくなく活動場所は限られましたが、昆虫観察では子供たちは捕虫網を振り回し楽しそうでした。植物観察ではスタッフのアドバイザーの話に保護者も引き込まれていました。



自然観察の後は昼食準備です。今回のカレーライスは安全面、時間短縮を考えカレーはスタッフが準備しました。



図録を見ながらテントの中で昼食です。甘口と辛口の2種類ありました。参加者に好評で20個の飯ごうで炊いた御飯は全てなくなりました。

午後から予定していた里山遊び、観察路の散策は所々に水たまりがあり、実施できなくなり、自然工作に変更しました。



竹笛つくりとシュロのバツタ作りです。子供たちは楽しんでいました。最後にお土産のカブトムシをもらい解散しました。子供たちの満足した顔が快い気持ちにさせてくれました。

公開イベントの担当幹事として実施案の提案から関わりました。スタッフとして参加するのは全く違う経験でした。

天候の心配、スタッフ募集、役割分担、当日の活動内容、時間配分など考慮すべきことが多くありました。

近年の異常気象を考慮してイベントの開始時間を1時間早くし、前日に高温注意報が発令された場合は午後の活動を中止することも考えていました。

7月は梅雨、おまけに台風5号が発生している状況で、実施日の前日は大雨でした。そのため事前の準備が十分にできなかったが、悪条件の中、事故なくイベントが実施できたことに奈良・人と自然の会の力を知りました。